

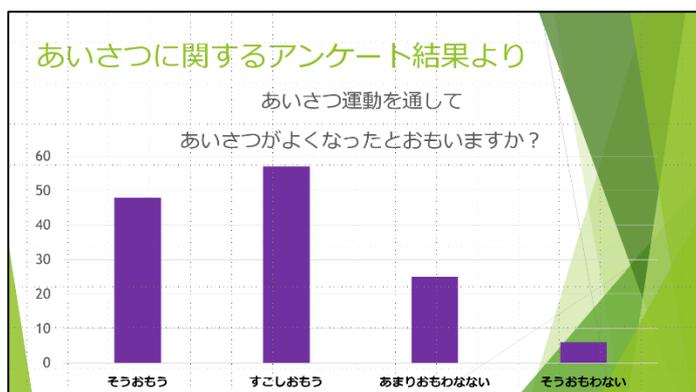
大野岳

教育目標 「ふるさとを愛し 志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和4年11月15日発行 文責 校長 大島 和子

◎ 「自分から大きな声で」～総務委員会の発表より



<総務委員会発表資料より>

挨拶をしている活動です。上の資料は、その運動に対するアンケート結果です。結果から、約23%の児童生徒はよくなっていないと思っていることが分かります。発表の中でも、「一部の人しか挨拶をしていないような気がします。」という感想がありました。挨拶には、次のような効果があるとされています。

- ・お互いの気分が良くなる
- ・会話のきっかけになる
- ・笑顔が増える などです。



また、挨拶は、化学反応のようなものとも言われています。例えば、元気な挨拶は相手の心を動かして同じように挨拶を返したくなると言われています。総務委員会の発表でも、「大きな声で自分から挨拶するようにしましょう。」と呼びかけていました。児童生徒の皆さんの挨拶で、笑顔あふれる学校になることを総務委員会の活動とともに期待しています。

◎ 見て、聞いて、肌で感じて～6・9年修学旅行～



<9年生:折鶴を奉納している様子>

6年生(10/23,24)は長崎に、9年生(10/30～11/1)は鹿児島・熊本にそれぞれ修学旅行を行いました。事前に学習していたことを、実際に現地で見たり、講話を聴いたりして内容を深めました。

9年生の知覧特攻平和会館では、一つ一

つの資料を食い入るように見つめ、熱心にメモをとっている姿が印象的でした。現在、学んだことをまとめる活動に取り組んでいます。実際に足を運んだからこそ学ぶことができたものがたくさんあるようです。



<6年生:長崎平和公園にて>

◎ ふるさとの環境維持のために～大野岳清掃を行いました。

11/8日(火)に、今年度の新たな取組として、「大野岳清掃」を行いました。これは、「ふるさとの自然に親しみをもつとともに、環境を維持するために尽力されている方々の思いに触れる機会」とするために行いました。7年生の総合的な学習の時間に、



<作業している様子>

台湾ツバメシジミについて学習し、大野岳の自然保護の大切さも学習しています。そこで、7年生での学習を踏まえて、当日は、8、9年生が大野岳山頂の駐車場下の側溝(約500m)に溜まった落ち葉や土砂を取り除く作業を行いました。特に「防人坂の碑」付近は、堆積している土砂が多く、かなり時間がかかりました。予定の時間を超える作業ではありましたが、子供たちは、作業内容ごとに協力し、最後まで熱心に取り組むことができました。



<土砂が取り除かれた側溝>

◎ 入賞・入選おめでとう

“文化の秋”—ということで、たくさんのお褒め・おめでとうの知らせが届きました。先日の全校集会で表彰を行いましたので、地区特選以上を紹介いたします。

- 全国地域安全運動ポスター 佳作 H・Nさん(8年)
- 伊西地区読書感想文コンクール
最優秀 H・Gさん(3年)
特選 I・Iさん(4年) I・Aさん(6年)
T・Mさん(6年) N・Kさん(9年)
M・Aさん(9年)



- 伊西地区七夕書き方会
<硬筆> 特選 H・Yさん(1年) K・Rさん(2年) ※県入選
H・Kさん(4年) M・Yさん(7年)
<毛筆> 特選 Y・Kさん(4年)



- 佐賀県小学校児童文学賞 地区特選 M・Kさん(4年)
- 伊万里市子ども話し方大会 伊万里市社会福祉協議会賞 I・Aさん(9年)
伊万里市商工会議所青年部賞 I・Rさん(6年)
- 第6回絵で伝えよう『私たちの地球』を守る絵画展 入選 I・Aさん
- 令和4年度全国地域安全運動ポスター 県佳作 H・Nさん(8年)
- Street English Edutainment Program 優秀賞 T・Mさん(8年)
- 全国中学生人権作文コンテスト 佐賀県大会 奨励賞 I・Aさん
- 明るい選挙啓発ポスターコンクール 市優秀賞 U・Rさん(8年)
- 第7回全国海エネ絵はがきコンテスト 優秀賞 H・Nさん
入選 H・Rさん(5年)

※ 佐賀県文学賞については、次号に掲載いたします。

<お知らせ> 11月18日(金)は、南ばたピカリン☆大作戦の日です。